

おおたの未来づくり 単元計画シート

調布大塚小

単元名	地域の歴史を学ぼう ～古墳から考える今～		学年	第6学年
内容	B_地域の創生 (オ)地域の取組の広報型		総時間数	15
目標	・貴重な歴史資産である田園調布古墳群を地域の魅力として発信するために必要な知識及び技能を身に付ける。 ・田園調布古墳群の魅力やこれから自分たちでできることを理解するために必要な情報を収集・整理分析しながら、地域の活性化につながる取組として情報発信することができる。 ・地域の歴史専門家や、地域の移り変わりをよく知る人との関わりを大切にするとともに、自分や他者のよさを生かしなが ら地域を活性化させる活動に主体的に取り組み、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・田園調布古墳群の魅力を発信するためのコンセプト設定に必要な内容・方法を理解・実践する。 ・大田区郷土資料館学芸員やせせらぎ館職員とともに古墳群や古墳展示室のフィールドワークを行い、古墳群の地域における役割や魅力、地域資源の価値について分析する。 ・分析した情報を基に、地域の財産としての古墳群の魅力を発信するために必要な条件について、専門家と協働しながら分析しコンセプト設定に取り組む。			・大田区郷土資料館学芸員
デザイン	・地域の人々に受け入れられる情報発信を企画するために必要な内容・方法を理解・実践する。 ・コンセプトを踏まえて、効果や実現可能性、持続可能性の視点から検討し、取り組みの内容や方法、キャッチコピーなどによる企画案を考える。 ・郷土資料館やせせらぎ館とのリフレクションを受け止めて、協働的にデザインの改善や必要な情報収集に取り組む。 ・郷土資料館での情報発信を想定したプレゼンテーション作成のポイントや編集方法について助言を受ける。 ・郷土資料館やせせらぎ館とのリフレクションを受け止めて、協働的に改善に必要な情報の収集に取り組む。			・大田区郷土資料館学芸員 ・教科書及びリンク動画
クリエイション	・制作したパンフレットやリーフレットについて、郷土資料館やせせらぎ館からの助言を基に、効果的な伝え方を理解し宣伝方法を改善する技能を身に付ける。 ・郷土資料館やせせらぎ館とのリフレクションを生かしてパンフレットやリーフレットを改善し、学校ホームページや古墳展示室で公開する。 ・地域住民からの評価を受け止めて、取り組みを振り返り、価値や改善点を見出す。			・大田区郷土資料館学芸員 ・田園調布グリーンコミュニティ ・グーグルスライドやアプリケーションによる参考資料
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	読むこと	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。		2
	書くこと	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。		
	書くこと	・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		

社会	歴史	・世の中の様子, 人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して, 我が国の歴史上の主な事象を捉え, 我が国の歴史の展開を考えるとともに, 歴史を学ぶ意味を考え, 表現すること。	3
図工	表現	・絵や立体, 工作に表す活動を通して, 感じたこと, 想像したこと, 見たこと, 伝え合いたいことから, 表したいことを見付けることや, 形や色, 材料の特徴, 構成の美しさなどの感じ, 用途などを考えながら, どのように主題を表すかについて考えること	2
総合		・地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	8